

平成 3 0 年 11 月 12 日

松本市議会

議長 上條 俊道 様

松本市議会市役所新庁舎建設特別委員会

委員長 犬飼 信雄

市役所新庁舎建設特別委員会行政視察報告書

市役所新庁舎建設特別委員会行政視察を実施しましたので、その概要について報告します。

記

1 期 日

平成 3 0 年 1 0 月 2 2 日（月）～ 2 3 日（火） 2 日間

2 参加者

市役所新庁舎建設特別委員 1 6 人、関係理事者 1 人、事務局随員 2 人 計 1 9 人

3 視察先及び調査項目

(1) 群馬県富岡市

ア 新庁舎建設の経過について

イ 新庁舎の耐震・免震対策について

ウ 新庁舎建設に際し、世界文化遺産「富岡製糸場」に配慮した対応について

エ P F I などの事業手法の検討について

オ 新庁舎内視察（議会施設含む）

(2) 東京都町田市

ア 新庁舎建設の経過について

イ 新庁舎の耐震・免震対策について

ウ P F I などの事業手法の検討について

エ 新庁舎内視察（議会施設含む）

(3) 神奈川県茅ヶ崎市

ア 新庁舎建設の経過について

イ 新庁舎の耐震・免震対策について

ウ P F I などの事業手法の検討について

エ 新庁舎内視察（議会施設含む）

4 概 要

(1) 富岡市

ア 市役所新庁舎の建設について

日 時 10月22日(月) 13時30分～15時30分

対応者 市長公室財政課契約検査係(新庁舎建設担当) 小須田係長

(ア) 事業概要等

・ 事業概要

敷地面積 8093.92㎡ 建築面積 3765.10㎡

延床面積 8575.54㎡(行政棟6,087.79㎡ 議会棟2,487.75㎡)

構造 鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁混合構造 階数3階

工期 平成28年1月21日～平成30年2月15日

設計管理 (株)隈研吾建築都市設計事務所

施工者 タルヤ・岩井・佐藤共同事業体(スーパーゼネコンを入れず地元企業で構成)

事業費 4,711,160,000円(本体工事3,939,770,000円)

特長 ①防災拠点機能設置(災害時水道、下水道、電気が停止しても、3日間対応可能)

②世界遺産対応 景観条例で高さ14m以下(3階) 世界遺産のバッファゾーン内(遺産を守る為の緩衝地帯)に配慮した対応

(イ) 所感

新庁舎建設は、市民意見の反映と世界遺産対応等により、6年間の年月を要し建設されたものである。その間大きな変更は、市長公約により4棟から2棟方式になり、建設費が3億円軽減されたのが印象的でした。

有名な設計事務所の設計であり、デザインの的には評価できますが、市役所の機能面を考えると問題として建設後指摘されていました。

また、地域文化・環境に配慮することによる建設単価の増額も指摘されていました。

議会機能につきましては、事前の協議不足(会派控室位置づけ、議場の仕切り壁の透明ガラス、傍聴席との仕切り等)を感じました。

今回の行政視察により、様々な面において大いに勉強になった事項も参考に、今後の本市の新庁舎建設に議会活動を通じ活かすべきと考える。

(2) 町田市

ア 市役所新庁舎の建設について

日 時 10月23日(火) 9時～11時

対応者 財政部市有財産活用課 河合課長、小林係長、牧野係長

(ア) 事業概要・課題等

・ 事業概要

敷地面積 15,969㎡ 建築面積 7,661㎡
延床面積 41,510㎡ (立体駐車場 地上3階 4,146㎡)
構造 地上 鉄骨造 地下 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数 地下1階 地上10階 塔屋2階 高さ 42.62m
工期 平成21年10月～平成24年7月
設計管理 (株)楨総合計画事務所
施工者 主体工事 鹿島建設・イワヨ建設・三ノ輪建設
事業費 148億円
特長

- ① 基本設計後他の設計者が再設計して12億円削減(再設計料1億円)
- ② PFI検討(制度上困難と判断)
- ③ 敷地は、以前に公共用地として取得済み(当初は市庁舎建設地の候補地と検討されず)
- ④ 自衛隊の基地が近隣に存在するため、防衛省から多額の補助あり

(イ) 所感

新庁舎建設に当たり、基本構想の段階から設計に至るまで、ワークショップを開催し、多くの市民からいただいた意見や提案を反映しながらすすめ、多くの機能に反映されており、大いに参考とすべきと考える。
庁舎機能についても、職員の意見と専門家の意見が随所に見受けられ、理事者側も視察すべきと考える。
特に、環境にやさしい庁舎であり、学ぶとともに検討すべきと考える。
ただし、地域環境による補助制度が充実しているため、自己財源が少額で建設されていますが、建設単価が高額のため豪華すぎ、構造的には慎重な取り組みが必要と考える。

(3) 茅ヶ崎市

ア 市役所新庁舎の建設について

日時 10月23日(火) 13時30分～15時30分

対応者 企画部施設再編整備課 鈴木課長、松本主査

(ア) 事業概要等

・ 事業概要

敷地面積 23,238.06㎡ 建築面積 3,505.02㎡
延床面積 20,180.20㎡

構造 鉄筋鉄骨コンクリート造、一部鉄骨造、免震構造 高さ 30, 75m

階数 地下 1 階地上 7 階

工期 平成 2 5 年 1 2 月～平成 2 7 年 1 1 月

設計監理 株式会社 大建設

施工 戸田建設・亀井工業特定建設工事共同企業体

事業費 7,450, 255,000 円 (本体工事費 7,095, 600,000 円)

特長

- ① オリンピックの影響により、工事費が高騰
- ② 発注方式が一括発注で総合評価方式である。(単独・J B 可)
- ③ 議場システムに工夫
 - ・ 理事者側、議員側の一列目を、可動式にして収納
(議会以外の用途に使用)
 - ・ お子様ずれの個室傍聴席 2 個設置
- ④ 議会棟のセキュリティーシステム強化 (許可カード者のみ入室可能)

(イ) 所感

平成 28 年に供用開始を始めた新庁舎は、東日本大震災を踏まえ、市民の生命と暮らしを守る安全・安心の拠点となる新しい市役所の実現を目指し、大規模災害に対応した機能の充実もされていた。

人口も 241,532 人も同規模であり、庁舎機能・執務環境についても、大いに学ぶべきと考える。

また、今回の行政視察市が、本市の抱える課題を学ぶに相応しい三市でありましたので、今後の新庁舎建設に当たり、学んだ事項を大いに活かしたいと考える。

5 各委員の報告書

別添のとおり

6 資 料

別添のとおり